

並 延享二年九月十四日岩田淺右衛門に定番御歩小頭並を命ぜられ、寛延二年小頭に轉じた。この前後小頭並に任せられたものは、一人も見當らぬ。

ジヨウバンカチナミ 定番歩並 定番御歩 並の起原は不明であるが、寶曆七年七月四日前田平助がこの並に召出され、切米四十俵を賜はり、公子前田利實の配膳役を命ぜられたことがある。その後天明五年十月伊藤宇右衛門・廣岡右平次・坪内九兵衛が之に任せられたが、享保元年に定番御歩に進んだ。

ジヨウビケシ 定火消 藩士中大隊の人手に命じ消防の事に當らしめるを定火消というた。その邸宅屋上に高櫓を設け、日夜人を置いて監視せしめ、若し市内に失火あれば板を撃つて報じ、主人は家臣僕隸備夫數十百人を率ゐて馳せ至る。火消役の標號として纏を用ひ、現場に在つては之を馬前に樹て、進退動止を示した。寛文元年正月十日八人に命ぜられたのがこの役の初で、一番成瀬内藏助當風・玉井市正・生駒内膳直方・淺香左京之長、二番葛巻藏人・横山式部氏從・堀與左衛門定成・中村惣右衛門興政であつた。淺香・中村は御馬廻頭で當役を勤めたのである。之より先萬治年間前田平太夫・仙石勝左衛門・坂井與右衛門・寺西若狹・西尾隼人等の勤めたこともあるが、是等は火消役と風廻とを兼ねたといふ。貞享の頃に至つては十人で、五人宛半月交代二番に勤め、身分は概ね二千石以上のものであつた。因にいふ。江戸へ人持火消を遣はされたことは、榮辱雜記に『延寶八年加藤圖書・伊藤兵助右兩人江戸火消役被仰付。但今年始而人持火消被置。』とあるが、その廢せら

れた年月を明らかにせぬ。

ジヨウフ 定府 藩士にして江戸邸内に常住し、封國に歸ることのない者をいふ。

シヨウブウチ 高蒲打 藩政の時、端午の日の遊戯に高蒲打があつた。高蒲を束ねて短く切り、細き麻繩で緊縛し、之で大地を打つのであるが、士家の二三男又は若黨等は、婦人の髻を打つて快をとり、特に石を高蒲中に包んで重量を増すものさへあつた。爲にこの日は商家の婦女等の武士町を通るものが少かつた。

シヨウブガヤチゴエ 高蒲ヶ谷内越 鹿島郡大津から、羽咋郡徳田・代田・梨谷小山を経て、堀松に出づる道路をいふ。大津から堀松まで八軒。

シヨウフクジ 正福寺 金澤三構に在つて、眞宗東派に屬する。天正十四年乗善これを富山に建立し、二代覺乘は前田利長に隨うて高岡に移つた。覺乘花を好み、之を利長に獻じた爲、花園の地三百八十歩を賜はつたことがある。三代覺祐の時金澤公儀町に移つたが、寛永八年四代の時その地公用となつて今の所に轉じた。

シヨウフクジ 正福寺 羽咋郡羽咋に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 正福寺 鹿島郡千野に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 正福寺 鳳至郡曹洞宗總持寺山内に在つて、慶長十一年朝岸の建立する所。山内の曹藏院に隸屬してゐたが今は無い。
シヨウフクジ 正福寺 珠洲郡大坊に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 聖福寺 河北郡鳥越に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十三年四月寺號公稱の許可を得た。

シヨウフクジ 照福寺 鳳至郡石休場に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 淨福寺 石川郡粟田新保に在つて、眞宗東派に屬する。文久二年三月本山から寺號を得た。

シヨウフクジ 淨福寺 河北郡余地に在つて、眞宗東派に屬する。明治二年八月寺號公稱の許可を得た。

シヨウフクジ 淨福寺 鳳至郡大箱に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 淨福寺 珠洲郡引砂に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウフクジ 淨福寺 能美郡土室に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十三年八月寺號の公稱を許された。

シヨウフクジ 常福寺 金澤小將町に在つて、眞宗東派に屬する。慶長十二年能登七尾の常福寺祐念は、金澤東末寺の看坊たるべき命を受け、七尾には弟圓昭をして後住たらしめ、自ら陀羅尼鍛冶町に寺地を受けた。次いで寛永廿一年火災によりて袋町に移り、萬治二年小立野に轉じ、寛文三年又木新保荒町に移り、大正五年今の地に移つた。

シヨウフクジ 常福寺 金澤高道町に在つて、久榮山と號し、日蓮宗に屬する。正保四年妙成寺十五代日條の創建に係り、初め卯辰に居たが、明治元年三月五日出火焼亡し、後長久寺の客殿を購うて堂宇に宛てた。

シヨウフクジ 常福寺 鹿島郡府中に在つて、眞宗東派に屬する。

ジヨウフクジアゲチマチ 常福寺上地町 金澤の舊町名。元祿九年本町肝煎敷許附に、上今町の次に常福寺上地町と記し、享和三年幕府に進達金澤町名書に、桶町の下註に常福寺上地町と載せてある。桶町の續きで袋町の尻地であつたが、今はその名が絶えた。國事昌披問答に上今町之内常福寺上地町とするものは誤である。

ジヨウフクジマヘ 常福寺前 金澤の舊町名。常福寺の前通であつたからの名稱であるが、明治四年四月戸籍編成の時木新保五番丁とした。

ジヨウフクジモンゼン 成福寺門前 金澤の舊町名。成福寺は富山派山伏で、藤棚白山社の別當であつた。その前通を藤棚成福寺門前というたが、明治四年四月戸籍編成の際から、單に藤棚と稱することにした。

シヨウブダニ 正部谷 河北郡井上庄に屬する部落。

シヨウブダニ 正部谷 鹿島郡金丸の内の小字。

シヨウブツ 正佛 鳳至郡浦上の内の小字。

シヨウブツジ 稱佛寺 能美郡寺井にあつて、眞宗東派に屬する。山號は寺井山。

シヨウブツジ 稱佛寺 石川郡福留に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウホイン 正甫院 富山藩主第二代前田正甫の法號。詳しくは正甫院天心日管大居士。

シヨウホウイン 正法院 陸涼軒日録延徳四年五月廿五日の條に、『能州正法院可來之由桂公告之。』とある。正法院は今存せぬ。
シヨウホウジ 淨法寺 羽咋郡田中に在つ